

# 高知精神保健

発行所 高知市丸の内1丁目2-20  
高知県地域福祉部障害保健支援課内  
高知県精神保健福祉協会  
電話：088(823)1111・088(823)9669(直)  
FAX：088(823)9260  
E-mail：kochi-mhwa@mopera.net

発行人 明神 和弘 編集人 谷 晃

第268号

高知県精神保健福祉協会

## 平成30年度活動計画

高知県精神保健福祉協会会長 明神 和弘



ここ数年、地震のことばかり書いているように思います。先だっても大阪で大きな地震が起これ、多くの方が被災されました。本当にお気の毒に思います。心からお見舞い申し上げます。こうして次から次へと地震がおこるのを目の当たりにしますと、次は南海トラフ地震ではないかと心配になってきます。30年以内に75%の確率で起こると言われており、きたるべき時のためにどのように取り組むべきかを真剣に考えていかなければいけないと思われます。

高知県精神保健福祉協会では、4月に行われました総会で私が引き続いて会長を勤めさせていたしたことになりました。皆様の協力を得ながら何とか頑張って勤めていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願ひいたします。

さて、平成30年度の協会の活動計画がまとまりましたので報告させていただきます。

広報委員会ではこれまでと同じく「高知精神保健」を年3回(6、9、3月)に発行します。テーマを持った紙面つくりを心がけていきたいと思っています。ホームページも少しずつではありますがアクセス数が増えてきています。

大会実行委員会では今年は「地域で支える子どもの育ち」～高知家の発達障害支援の課題～をテー

マとしました。発達障害に関しては、近年ますます増加しており、大きな社会問題となってきています。大人の発達障害も問題になってきていますが、多くは子どもの頃からその傾向は認められており、今回は子どもに焦点をあててみることにいたしました。

講師はNPO法人ライフ・スタイルサポートみえ理事長、前三重県立小児心療センターあすなろ学園園長の西田寿美先生です。先生の多くの経験をおして、今回のテーマに関するお話を聞かせていただけるのではないかと期待しています。講演の後シンポジウム「高知県の現状と課題」を行います。平成30年10月24日(水)13:00～16:30、高知県民文化ホール(グリーン)で開催いたします。

総合福祉委員会では卓球大会を6月19日(火)高知県民体育館にて、第3回バリアフリーフェスティバルを10月10日(水)に高知県民体育館にて、第22回文化交流会を平成31年2月27日(水)に高知県民文化ホール(グリーン)にて行います。バリアフリーフェスティバルは、参加者も増えてきており盛り上がりをみせているようです。文化交流会は、昨年少し趣向を変えて個人部門のカラオケを始めたところ、参加者も増えたようで嬉しく思っています。

調査研究委員会は2年ほど休んでおりましたが、今年度からまた復活することになりました。委員

### 目 次

高知県精神保健福祉協会2018年度予定	1
第53回四国断酒ブロック大会	2
高知県精神保健福祉関係機関連絡会	3

高知県精神障害者地域生活支援施設連絡会	4
精神保健福祉卓球大会の結果について	4

長は高知大学医学部神経精神科学教室・講師の上村直人先生になっていただき「高知県の教育現場におけるネット依存に関する教職員への意識調査」をテーマに調査研究を進めています。

研修委員会では「第21回精神保健福祉従事者リフレッシュ研修」を9月～12月にかけて4回行う予定です。また「地域での研修会及び交流会」を11月頃中土佐町で行いたいと考えています。

基金管理運営委員会では、社会復帰施設に貸付事業を行っています。借入金の限度額は200万円で償還期限は1年以内、無利子で貸付を行っています。

## 「今こそ原点回帰」

### 第53回四国断酒ブロック大会 ～併 高知県断酒新生会 創立60周年記念大会～

平成30年4月1日、高知市県民文化ホールでおこなわれた四国断酒ブロック大会は、高知県断酒新生会の創立60周年記念大会と併せて開催され、県内外の医療・行政・福祉担当者、断酒会会員ら約600名が参加した。アルコール健康障害対策基本法の成立に尽力された衆議院議員中谷元氏はじめ多くの来賓が激励に駆けつけてくださいました。

ブロック大会では、酒害者本人や家族の体験発表、重黒木一先生（医療法人社団翠会慈友クリニック精神科課長）の講演が行われ、また新生会60周年記念として、断酒継続40年以上の会員を表彰。下司孝之氏（記念誌「断酒会に寄り添って－下司孝磨伝－」著者）と久保田常子さん（松村春繁初代会長・文子夫妻長女）から祝辞をいただいた。

大会について、2日付け高知新聞朝刊が記事を掲載。重黒木先生の講演について、「『依存症は治すべきだ』などという正論は、心の逃げ場を封鎖する、患者の思いに寄り添った対話や、酒害体験を語り合う断酒会活動への参加が回復に有効だと紹介し

例年多くの施設に利用していただいていましたが、なぜか昨年度はどこからも申請がありませんでした。もし必要になれば遠慮なく申し込んでいただければと思います。

最後に特別委員会・あり方検討委員会では、これから的精神保健福祉協会のあり方を検討中です。県民の皆様のお役に立てるような協会を作りたいと考えております。皆様方もご意見等ありましたら協会ホームページなどで、遠慮なく申し出ていただければありがたいと思います。どうかよろしくお願ひいたします。



断酒ブロック大会



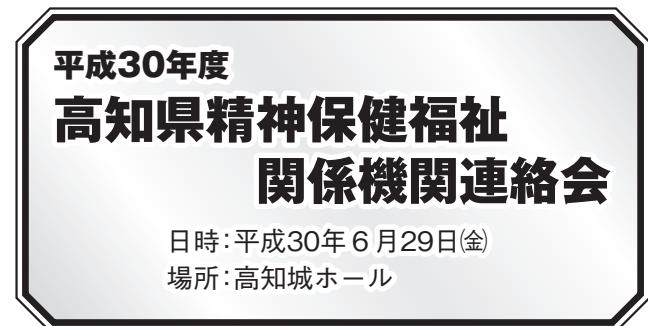
断酒継続40年以上の方を表彰

た。」(海路佳孝記者)と記載された。

新生会60周年では、断酒40年以上で表彰された、有澤土生さんは、「妻と断酒会のおかげでこれまで生きてこれた。断酒は命です。これからも頑張ります。」と感謝のことばを述べた。記念誌を執筆された下司孝之氏は、父である孝磨氏が、「精神科医療で行き詰ったときに集団療法としての断酒会にたどり着き、本人も断酒会によって救われたのではないか。」と話された。また、久保田常子さんは、「父は断酒会活動で家を空けることが多くて、さびしい思いをしたが、反面各地の大会などに連れて行ってくれたときは両親とずっと一緒にうれしかった。皆さんも子供さんと一緒に参加されるとよいと思います。」とご両親の思い出などを話された。

大会の最後に、「断酒会の原点を今一度確認し、望ましい活動のあり方を追及、実践していこう」と宣言して終了した。

高知県断酒新生会 橋本和明



本年度、高知県精神神経科診療所協会が退会した。以下、各機関の活動状況及び平成30年度事業計画について。

#### 1. 高知いのちの電話協会

<http://k-inochi.sakura.ne.jp/>

- ・第17期認定者 8名が相談員活動に入り、第18期養成講座は 6名で開講。

#### 2. 高知県社会福祉協議会

<http://www.kochiken-shakyo.or.jp/>

- ・若者サポートステーション、地域生活定着支援センター、権利擁護センター事業と、8050問題など生活困窮者自立支援に係る事業や、生活福祉資金貸付事業等を連携させながら取り組む。

#### 3. 高知県精神障害者家族会連合会

- ・家族の高齢化が進み活動を休止した家族会もあり、親なき後の当事者の自立に向けた取り組みを考える必要がある。

#### 4. 高知県精神障害者地域生活支援施設連絡会

<https://www46.atwiki.jp/kochi-shstsren/>

- ・平素の意見交換・情報共有のためと災害時の連絡手段としてメーリングリストの活用を予定している。

#### 5. 高知県精神保健福祉士協会

<http://www.kochi-psw.com/>

- ・平成30年度ソーシャルワーカーデイ関連事業虐待対応力向上研修を 7月21日(土)午後、高知市保健

健福祉センターで行う。講演「高齢者虐待と権利擁護」～意思尊重と保護介入の狭間で～ 講師:池田恵利子氏

#### 6. 高知県断酒連合会

<https://kochi-danshukai.jimdo.com/>

- ・地域における酒害相談、酒害者の救済、啓発のためのパンフレット頒布、各種講演会研修会の開催、学校での酒害講話などを行う。

#### 7. 高知県臨床心理士会

- ・「公認心理師」が法定されることを受け、本会の名称変更などを審議する臨時総会を予定。

#### 8. 日本精神科看護協会高知支部

<http://www.jpna.jp/>

- ・「こころの日事業」として、8月18日(土)午後高知会館で、第14回こころの日講演会「LD（学習障害）から考える「言葉」の大切さ～命をつなぐ、希望をつくる」(講師:南雲明彦氏)を開催する。

#### 9. 精神障害者ボランティアほっとはあと

- ・高知県精神保健福祉ボランティア連絡協議会では、7月29日(日)高知県立ふくし交流プラザで、平成30年度精神保健福祉ボラティア学習会（第1回）を開催する。内容は「WRAP 元気回復行動プラン」(講師:安藤里恵子さん)

#### 10. 高知県精神保健福祉協会

<http://kochi-mhwa.sakura.ne.jp/>

- ・基金管理運営委員会では障害者就労支援事業所の運営資金に無利子貸し付けを行っている。



高知県精神保健福祉関係機関連絡会の様子

高知県精神障害者地域生活支援施設連絡会  
平成30年度第1回研修会  
**「発達障害支援における悩み、  
困りごとについて  
～こんな時どうしたらいい？～」**

日時：平成30年6月7日(木)

場所：高知市保健福祉センター

講師：海辺の杜ホスピタル 町原 敦 先生



高知県精神障害者地域生活支援施設連絡会では定例の年度総会の後、研修会を開催しました。研修の前半は町原講師から発達障害特性を持つ方の抱える方の問題や課題についての講義を行い、後半は参加した事業所から提出された「日頃の支援で困っていること、なやんでいること」についてそれぞれ現場スタッフと町原講師との対話形式で検討を行いました。

町原講師は発達障害の特性をもつ方と支援者の関りの心がまえのポイントとして、ゆっくり、短くわかりやすい言葉で、具体的にひとつづつ話す。どこまで分かっているか見極め、何が起こっているのか説明をする。出来ることは見守り、出来ないことは手助けをする。問題行動、困った体験を失敗ではなく学ぶ機会ととらえる、などをあげました。



参考資料の図書



**平成30年度 高知県精神保健福祉卓球大会の結果について**

平成30年6月19日(火)、県民体育館において11施設が参加し、平成30年度精神保健福祉卓球大会が開催されました。

\*\*\*\*\* 結果報告 \*\*\*\*\*

◆団体の部

優 勝 土佐病院Aチーム

準優勝 海辺の杜ホスピタル

第三位 高知ハーモニーホスピタル

第四位 施設連合



◆個人の部

男子の部 優 勝 細木ユーティ病院の選手

準優勝 施設連合の選手

女子の部 優 勝 海辺の杜ホスピタルの選手

準優勝 藤戸病院の選手

\*休憩時間には、審判長とのエキシビションマッチも行われ楽しまれています。

選手の皆さん、応援の皆さんお疲れ様でした。



命のために、  
できること  
すべてを。

 大日本住友製薬

Innovation today, healthier tomorrow